

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

258

ふりがな		やまもと まき 山本 麻希
所属先	所属先名称	国立大学法人長岡技術科学大学
	役職名	准教授
専門分野 ※該当に✓を記入		☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☒ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☒ その他（ 市街地出没対応、内水面漁業被害 ）
対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☒ アナグマ ☒ カラス ☒ カモ ☒ ヒヨドリ ☒ スズメ ☒ ムクドリ ☒ その他鳥獣（ カワウ、サギ類、タヌキ、カモシカ ）
対応可能地域 ※該当に✓を記入		☒ 全国 ☐ 北海道 ☐ 東北 ☐ 関東 ☐ 北陸 ☐ 東海 ☐ 近畿 ☐ 中国 ☐ 四国 ☐ 九州 ☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（ ）
免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☒ 狩猟免許 （銃：取得年 H24年 、 わな：H24年 ） ☒ 鳥獣プロデーターバンク ☒ 鳥獣保護管理プランナー ☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター ☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター ☐ 鳥獣管理士（ 級 ） ☒ ジビエ利活用コーディネーター ☒ その他（ 鳥獣管理技術協会理事、DCC1 ）

活動実績	
活動期間	R2～R4
地域	東京都、群馬県、岩手県、秋田県、新潟県、鳥取県、福岡県、佐賀県、長野県、栃木県、東北カワウ広域協議会、中部近畿広域協議会、環境省カワウ上級者研修会等
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☒ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ ☐ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☒ その他鳥獣（ カワウ ）
活動の内容	カワウの被害対策に関する講演会、現地指導、広域協議会における合意形成会議を行った。また、環境省の広域協議会においては、各県の協議会へのアドバイス、上級者研修会での講師も務めた。新潟県、鳥取県、秋田県、東京都、群馬県においては、各県の特定計画の策定の有識者委員として参加し、特定計画の作成に携わった。環境省のカワウ検討委員会、全国内水面漁連カワウ検討委員会として、全国のカワウの被害対策に関する有識者委員を務めた。

活動実績	
活動期間	R2～R5（現在も継続中）
地域	新潟県、茨城県
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☒ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☒ アナグマ ☒ カラス ☒ カモ ☒ ヒヨドリ ☒ スズメ ☒ ムクドリ ☒ その他鳥獣（ カモシカ、タヌキ ）
活動の内容	新潟県と茨城県の鳥獣被害対策指導者養成のための県全体の研修を実施している。新潟県は近年、初級編（イノシシ、シカ研修、サル・クマ研修、小型獣類・鳥類研修、電気柵研修）合計4回、中級編（電気柵研修、集落環境診断研修、課題解決学習）合計3回の合計7回を行政や地域リーダーを対象に実施、茨城県は初級編4回に加え、2地域で集落環境診断研修を実施している。また、新潟県ではこのほかに普及指導員研修、協力隊向け研修、捕獲技術者のための指導者養成上級編研修を実施している。行政担当者には必ず異動がある。そして仕事は引継ぎがほとんどなされないのが実情である。しかし、鳥獣被害対策は、継続が重要であり、高度な専門知識が要求される。そこで、新潟県、茨城県では毎年異動がある市町村や県などの鳥獣被害を担当する行政担当者向けに、農水省の総合対策事業の補助金を正しく使用することができる知識を身に付けてもらうため、全獣類、鳥獣対策の全体にまつわる内容の研修（実技を含む）のカリキュラムを作成し、研修を行っている。研修は、移動直後に参加する初任研に加え、経験ができてからうまくいかない部分を克服することを目的とした中級研、捕獲に特化したプロの捕獲技術者を作る上級編など近年は対象者ごとに細かにカリキュラムを組み替え実施を行っている。新潟県ではH26年よりこの研修を実施し、県内に述べ400人以上教え子が活躍している。また、茨城県ではR1年度より新潟で実施している研修を導入し、活動が始まった。新潟県はR2年度より県に鳥獣対策センターが設置され、主に、農林水産部農産園芸課の担当が種担当となっているが、私たち鳥獣対策を支援する民間団体と県がタッグを組んで、一緒に人材を育成するカリキュラムを作り、取り組むことで市町村の鳥獣被害実施レベルが高まり、近年は以前に比べ、サル被害が激減した。近年は、イノシシの個体数が増加しつつあるため、新潟県では捕獲者育成のためのプロジェクトに2年前から力を入れて取り組んでいる。茨城県もイノシシ被害が中心となっているが、霞ヶ浦中心に発生しているカモによるれんこん被害など地域性のある鳥獣種に細やかに対応したカリキュラムを作成している。
活動期間	R2～R5（現在も継続中）
地域	三重県
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	三重県林業アカデミーのプレイヤーコースの講師として、林業に従事する人向けのニホンジカ、イノシシの生態と被害、個体数管理、被害防除、生息地管理について講義を行っている。
活動期間	R2～R5（現在も継続中）
地域	佐賀市、福岡県、糸島市、佐賀県、熊本県、茨城県かすみぐら市、新潟県長岡市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ ☐ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☒ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	カモによる農業被害の抑制のための被害対策手法に関する講演、現地指導、新しい防除技術の開発に携わった。

活動実績	
活動期間	R2～R5（現在も継続中）
地域	新潟県内各市町村、茨城県内各市町村、長野県小川村、佐賀県、福岡県、佐賀市、群馬県、奈良県、宮城県
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☒ アナグマ ☒ カラス ☒ カモ ☒ ヒヨドリ ☒ スズメ ☒ ムクドリ ☒ その他鳥獣（ カモシカ ）
活動の内容	上記、県、市町村、農業団体に呼ばれて行って、各動物の生態、捕獲技術、個体数管理等の勉強会を行ったり、宮城県、新潟県、福岡県、群馬県においてはイノシシ、シカ、あるいは、有害鳥獣対策の有識者として、特定計画の策定、有害鳥獣対策検討会に携わった。また、新潟県内の22市町村の防止計画の第3者評価を毎年7～8か月所ずつ記入した。 新潟県内においては、集落環境診断を行い、モデル集落作りを実施した。